

主催 尼崎市立美方高原自然の家
監修/現地指導 関西学院大学教授 甲斐 知彦氏

親子で体験する

ART & CREATIVE CAMP 2024 夏

アート&クリエイティブ思考を育てる

とき 2024年 8月13日～8月15日 (2泊3日)
場所 兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35
尼崎市立美方高原自然の家
対象 小学4年生～中学生の親子
定員 15組30名程度 ※先着順
(最低催行人員20名)

関西学院大学

人間福祉学部 人間科学科 教授・医学博士 修士(体育学・メディア表現)

甲斐 知彦 監修/現地指導

親も子も学べる3日間



”AI時代”に必要なのは新たな価値を生み出す力！
学校で教えない野外教育を専門家が監修/現地指導

アート & クリエイティブ思考を育てる



野外教育 とは

「野外教育」という言葉はまだ一般化していませんが、「体験教育」という言葉は最近よく聞くようになりました。野外教育は、「体験」を野外（自然環境）で行うことであり、学力テストに現れる”認知能力”とは異なる”非認知能力”を圧倒的に成長させることが研究から明らかになってきました。”非認知能力”とは、創造力や協調性といった特性や気質を指し、子どもの成人後の学歴や職業選択、収入など、長期的な成果につながると考えられます。したがって、今、非認知能力を成長させることが、豊かな人生にとって、とても重要なことが分かってきたのです。

野外教育では、「野外活動」を体験するだけに留まらず、「体験学習サイクル(David.KOLB)」を意識的に利用します。今回のキャンプでは、それをとても意識した構成にしました。

具体的には、「体験」⇒「振り返り」⇒「一般化」⇒「応用」といったサイクルでプログラムを進行することで、社会の成功者が身につけているといわれているFarTransfer（汎化；異なる対象に共通する性質や法則などを見出す力）を育成することができます。

これからの”AI時代”に備えて



親も子も 自然体験 から学ぶ

本プログラムのゴール

AI時代に必要になってくるのは、膨大な情報を元にAIが作った回答を正しいかどうかを見極め、さらに新たな価値を生み出すことです。本プログラムでは、**こどもグループとおとなグループ**に分かれて3日間のさまざまなアクティビティを通じ、**非認知能力の向上**をめざします。

- **創造性の刺激 (CREATIVITY & CURIOSITY)**

自然の美しさや多様性は、参加者の創造性を刺激します。風景や生物の観察、自然の素材を使ったアート作品の制作など、自然環境からインスピレーションを得ることで、参加者は自己表現の手段としてのアートを体験します。

- **コミュニケーション能力の向上 (COMMUNICATION & SELF-AFFIRMATION)**

デジタルコミュニケーションが主流となっていますが、プログラムでは参加者が直接対話し、協力して活動することで、コミュニケーション能力やチームワークスキルを向上させます。

- **問題解決能力の養成 (CRITICAL THINKING & COLLABORATION)**

野外活動では、しばしば未知の状況や課題に直面します。そのような状況で問題解決能力や創造力を発揮することが求められます。これらの経験は、AI時代の変化に対応するための柔軟性や適応力を養います。

- **リーダーシップスキルの育成 (RESPONSIBILITY & GRIT)**

プログラムでは、グループの中でリーダーシップの役割を果たす機会が与えられます。参加者はリーダーシップの責任を担い、他のメンバーを指導し、チームを統率することでリーダーシップスキルを磨くことができます。

- **環境意識の醸成 (AGENCY & SELF-EFFICACY)**

AI技術の発展に伴って、環境問題への関心が高まっています。プログラムでは、自然の美しさや価値を実感する機会を提供し、持続可能な生活を送るための行動を促進する意識を高め、環境保護の重要性を理解します。

親子で同じプログラムを体験することは、自宅に帰ってから、特別な共有体験について、**親子で会話する機会をつくり**、さらなる**非認知能力を向上**という効果が期待できます。

ART & CREATIVE THINKING



アクティビティ について

ART & CREATIVE CAMPでは、本物の体験を通して、アーティスティックなものの方、生み出し方を学びます。そのため、都市から遠く離れた奥深い自然に浸り、現役アーティストとして活躍する喜多直人氏のセッションに参加します。作り物ではない、本物に触れていただくことで、参加する皆さんがお持ちの美意識やクリエイティビティを刺激する内容となります。漂着物を使ったアート作品制作など楽しみながらSDGsも学べます。

アクティビティの一例

- ・喜多直人氏のアートセッション
- ・ツリーイング
- ・ネイチャーナイトハイク
- ・ドラム缶風呂
- ・但馬の食材をふんだんに使った野外料理
- ・シャワークライミング
- ・屋上天文台星空観察

※アクティビティは天候等により、変更になることがあります



インタビュー

アート&クリエイティブキャンプ 監修/現地指導へかける思い

関西学院大学

甲斐 知彦 人間福祉学部 教授



経歴

日本体育大学卒、同大学院修了（体育学修士）
弘前大学大学院医学研究科（医学博士）
情報科学芸術大学院大学（メディア表現修士）

所属学会など

日本野外教育学会、人工知能学会に所属。日本野外教育学会では、理事を務める。近年は、野外教育とデジタル技術の関係に注目し、野外活動施設やテクノロジー企業との共同研究を多数実施。2022年には、文部科学省の「体験活動の質を高めるためのデジタル技術活用に関する調査研究の調査研究員を務めた。

AI時代の子育てについて

現在、「非認知能力」が注目されていますが、その多くがもともと、野外教育で伸びる力（心理的社会的能力、徳育的能力、身体的能力）とされてきたものです。その意味では、野外教育が「非認知能力」の向上に役立つことは自明です。しかしながら、社会には、「野外教育」という言葉は浸透しておらず、「こんなにいいものがあるのに」と私としては残念です。

また、近年のテクノロジーの発展は、驚異的で2015年ごろに話題となった「労働人口の約半分が10~20年後にはAIやロボットで代替されるのではないか」という心配を強く感じます。当時は、こうならないために必要な力として、オズボーン（英）が、Social SkillとCreativityを挙げましたが、現在の生成AIの様子をみると、それすらも危うくなってきているように思います。

そんな中で私が思うことは、今こそ、真のアート思考が必要だと思っています。

**「問うこと」「その答えを模索すること」そして
「それを表現すること」**

この力こそがこれからの時代に必要な力だと思っています。

プログラムへかける思い

今、必要だと考えているアート思考を伝える場を作りたい。それが、ART & CREATIVE CAMPへかける思いです。写真家喜多直人氏とは、多くの点でその思いを共有することができました。今回のプログラムが参加者の皆さんにとって、とても刺激的な体験になると確信しています。

イギリスの作家オスカー・ワイルドは、「〈自然〉とはぼくらを産んでくれた大いなる母なのではなく、ぼくらが創ったものだ。それが生命を得て蘇るのは、ぼくらの脳の中でなのだ。ぼくが見るからこそものがあるのであり、ぼくらの見えるものやその見方は、ぼくらに影響を与えてくれた『芸術』に負っているんだ」といっています。そう考えれば、私たちが目にする自然を、こどもたちも同じように受け止めているか不明です。

私たちはそれまでの人生で築き上げた美意識によって、その人その人の自然を描いているに違いありません。本物のアーティストに触れ合うことでこどもたちにもその感性を磨いていただきたいと思います。

正解のない表現にチャレンジ

アーティスト指導のもと、瀬戸内海などの海で漂流の旅をしてきた漂着物と向き合い、一人一人の「漂着物物語」を創作します。

海などで出会う漂着物を「ごみ」ではなく「生活のかけら」・「思い出のかけら」と見ることで、ものごとに対する見方を変えることの重要性を学び、観察・想像により創造力を刺激し、正解のない表現にチャレンジします。

アートと表現について

いわゆる芸術家・アーティストと呼ばれていない人たちもそれぞれが自分としての「表現」というアクションを連続させてライフスタイルを過ごしています。朝起きて着る服を選ぶこともそうだと思うし、社会や他者との交わりという日常にアート表現は散りばめられ、溢れていると思います。



アートセッション講師

アーティスト 喜多直人

「地球と人間の同居」をテーマに活動。様々な土地と人々のかかわり合いや、誰かにとっての日常は誰かにとっては非日常である事を撮影、記録し考察する。2013年から宮城県塩竈市に移住し、大人から子供まで多様な人達とプロジェクトを展開し。その土地ならではの表現で作品を共同制作している。沿岸部や離島での活動も多く、近年は漂着物コレクションを使った作品やワークショップを展開中。アートプロジェクト『種は船プロジェクト』においてTANeFUNeの船長を2013年から現在も進行形で務めている。

一人一人が自分の哲学を更新し続け、社会の中で何か打ち込むことによって吸収されて、交じり合っ、抽出されてくるものが「表現」と考えると、正解もゴールもないような、でも自分なりの着地点へと向かう「道行」の楽しみ方のようなものではないでしょうか。

自然の中で自分では創り出せない奇跡のような瞬間や優れた芸術作品に出会うと、畏怖の念が生まれ、考え方や見え方、概念、哲学がほんの少しズレたり、広がったりします。それは東洋医学的なアプローチと似ていて、現代の社会ではとても重要な思考だと考えています。

西洋医学的・西洋哲学的な教育や社会がベースになっている中、個人個人が健康的かつ本質的にライフスタイルを過ごすには、アート脳を鍛えて、真っ白なキャンバスにその日の気分で色を塗ることができる選択力を身につけ、さらに非日常的な刺激に触れて哲学を更新し続けることが大切で、まさにそれが「表現」ということだと思っています。



アクティビティ

「正解のない表現にチャレンジ。アート&クリエイティブ志向で製作進行」

創造性 環境意識

アーティスト 喜多 直人氏の指導のもと自然の中にある漂着物や廃棄物を使って、アート作品を制作します。普段、目にする漂着物や廃棄物は「ゴミ」ではなく「生活のかげら」とみることで、ものに対する目線を変えることの重要性を学びます。そして、創造力を刺激し、正解のない表現にチャレンジします。制作過程を貸出するiPadで新聞記事にまとめ、作品発表会を実施します。作品と印刷した新聞は夏休みの課題としても利用できます。



やること 2時間 ひとり

- ・廃棄物アート（画用紙）とワークシートづくり（夏休み自由研究向け）

「じぶんとひとは違う。個性を認める。ダイバーシティワークショップ」

リーダーシップ コミュニケーション

この活動は体験を通して、メンバーの関りを深めようというアクティビティです。人と人との関係を構築するのは結構難しいことですが、遊びながらだと案外うまくいきます。アメリカ生まれの活動で多様な背景（コンテキスト）をもつ人たちの人間関係構築のために生まれた活動です。いろいろなコンテキストを持つ参加者がいることを知るとともに、そのコンテキストをすり合わせることで課題がうまくとけることを体験します。



やること 1時間 グループ

- ・ボールをトスしながらメンバーの名前を覚える。
- ・フラフープを全員の指に乗せて指から離さずに課題をクリアする。

「いつもとは違った視点からモノを見よう！ 木登り・鳥の目体験」

創造性

ツリーイングとは、木に負担をかけないロープを使って安全を確保しながら行うアメリカ生まれの木登りのことです。普段とは違った目線の高さに到達することで鳥などの視点で景色を眺めることができます。これにより新たな気づきや自然との距離を縮めることができます。また、一人で登ることことで達成感が得られる活動でもあります。



やること 30分 ひとり

- ・ロープを使って行う木登り

「アウトドアクッキングでチームビルディング」

コミュニケーション 環境意識

普段の生活とは違い、ちょっと不便な環境で料理をみんなで作ります。不便な環境だからこそ、一人では完結できず、メンバーとの協力が必要となります。最初に行うASEと同じ効果があり、背景の異なるメンバーがそれぞれのコンテキストをすり合わせることで成り立ちます。この経験はおとなになってからも必要な力といえます。



やること 合計2時間 全員

- ・野外炊事
6回（カレー、カートンドック、流しそうめん、野外パーティ、手打ちうどん、炊き込みご飯）

「キャンプファイヤーを囲んで、自分の思いを表現してみよう！」

コミュニケーション 問題解決能力

みんなで火を囲んで、ゲームをしたり、思いを語り合います。普段の学校生活や塾では、与えられた課題に取り組み、その結果で評価されます。しかし、社会に出ると正解と言えるものは少なく、自分で考え、それを表現することになります。キャンプファイヤーでは、ゲームなどを通して、自己表現の壁を下げ、自分を表現し、それをメンバーに受け入れてもらえる体験を大切にします。



やること 1時間 全員

- ・キャンプファイヤー

アクティビティ

「自然の川が遊び場。そこでは作りたいものを作ろう！」

創造性 環境意識

川遊びで使う水鉄砲や船をつくります。主体的にものづくりに取り組むことで、自分の思いを遊び道具に込め、表現します。正解のない活動への取り組みによって、物事に主体的にとりくむ姿勢を育みます。

やること 1時間 ひとり

- ・川遊び使う道具づくり



「不便って、ヤバい。きつくて面白い？他では味わえないドラム缶風呂、実は最高！」

創造性 環境意識

ドラム缶にお湯をため、風呂にして入ります。普段と違うものに触れ、創造力を刺激する。不便を体験し、生きる力を高めます。

やること 1時間 ひとり

- ・ドラム缶の風呂に入る



「人間中心ではない世界ってどんな世界？夜の森を歩いてみよう！」

創造性 環境意識

ろうそくの灯りや懐中電灯だけで夜の森を探検するナイトハイク。テント泊でも、風の流れや虫の声、樹々から漏れる日の光、大地に寝る感覚など、自然との距離が近くなります。普段と違うものに触れ、創造力を刺激する。不便を体験し、生きる力を高めます。

やること グループ

- ・ナイトハイク 1時間
- ・テント泊 2泊



「振り返りと共有タイム」

創造性 コミュニケーション 問題解決能力 リーダーシップ 環境意識

体験を学びに結びつけるために、関西学院大学甲斐先生および研修を受けたインストラクターがファシリテーションを行い、各活動の最後や1日の終わりに体験した気づきや感じたことを言葉に出して振り返りを行います。

やること 1時間 全員

- ・体験の振り返りと共有



保護者へ

お子様だけで参加といったキャンプが多いと思いますが、本キャンプは親子で参加いただくキャンプとしました。もちろん、すべての活動を一緒にというわけではなく、大人の皆様には、こどもたちとの距離を意識してご参加いただきます。でも、一方でこどもたちに自然の中で思いっきり楽しむ大人の姿も見せていただきたいと思っております。

そして、そんな相互の関係から生まれる「こどもたちの自立した姿」「こどものように楽しむ大人の姿」を皆様には大切に持ち帰っていただき、日常でその体験を共に振り返っていただくことでさらなるキャンプの効果が生まれることを期待しています。実際、甲斐が関わったヴィッセル神戸Jr.ユースの育成キャンプでは、同行した指導者が日常場面で体験を振り返ることでその効果をあげています。

スケジュール

DAY1	こども	おとな
午前	12時 現地集合	
	Welcome Lunch	
	じぶんとひとは違う。個性を認める。ダイバーシティワークショップ	
午後	いつもとは違った視点からモノを見よう！ 木登り・鳥の目体験	これから必要な力を考えるワークショップ
	アウトドアクッキング①（カレーと丸鶏焼き）	
	野外で夕食 ※こどもが作った料理をおとなも一緒に食べる	
夜間	キャンプファイヤーを囲んで、 自分の思いを表現してみよう！	これから必要な力を考えるワークショップ
	テント泊	入浴・懇親 施設泊
DAY2	こども	おとな
	アウトドアクッキング②（但馬牛入りウインナーのホットドッグ）	
	ネイチャーガイドによる朝の散歩/ARネイチャーラリー	
午前	大学生による宿題お手伝いタイム	コーヒープレイク
	自然の川が遊び場。 そこでは作りたいものを作ろう！	いつもとは違った視点からモノを見よう！ 木登り・鳥の目体験（こどもと同じ内容）
	アウトドアクッキング③（兵庫揖保乃糸で流しそうめん）	
	シャワークライミング	
午後	正解のない表現にチャレンジ。 アート&クリエイティブ志向で製作進行	野外観察 など
	不便って、ヤバイ。きつくて面白い？ 他では味わえないドラム缶風呂、実は最高！	
	アウトドアクッキング④（但馬牛や地元食材をつかったBBQ）	
	野外で夕食&パーティー	
夜間	人間中心ではない世界ってどんな世界？ 夜の森を歩いてみよう！	天体観測
	テント泊	入浴・懇親 施設泊
DAY3	こども	おとな
	アウトドアクッキング⑤（創作クッキング）	
	サイト片付け	
	大学生による宿題お手伝いタイム	コーヒープレイク
午前	アート作品発表会	
	振り返りタイム	振り返りタイム
	共有タイム	
	アウトドアクッキング⑥（手打ちうどん・炊き込みご飯）	
午後	野外でランチ	
	帰路へ向けて出発	

※気象状況・食材の欠品などやむを得ない事情により本プログラムの内容の変更を行う場合があります。

青少年の気づき、学びを促進します。



とちのき村 施設紹介

2020年度よりISO9001自然学校支援による、安全で質の高い教育支援を行っております。尼崎市教育振興基本計画の基本方針である「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携（子どもの視点にたった教育）」における体験学習提供の場と指導の支援を行っております。

例えば、自然学校事業におけるIKR（生きる力の変容）調査、非認知能力における自己肯定感の向上、たくましさを育む体験の提供、インクルーシブ教育に伴う体験の場整備と指導支援、香美町小代区との連携など青少年の教育環境等の変化にあわせて、野外教育の提供について、プログラム開発とその影響調査を大学や企業と連携して行い、その得られた成果について、情報発信します。



認定証
社団法人日本キャンプ協会認定
優良キャンプ場



お申込み について

プログラム定員 15組30名
先着順となります！

- ・ 1組2名 132,000円（税込）
- ・ 1組3名 165,000円（税込）
- ・ 1組4名 198,000円（税込）

- ※・各組子どもを含んだ人数になります
- ・ 申込は、小学4年生~中学3年生までとなります
 - ・ 1名の参加の場合も1組2名分の料金となります
 - ・ 会場までの旅費は含まれておりません、ご自身での負担となります
 - ・ 参加人数が20名以下の場合は中止の場合があります
 - ・ その他ご不明な点などございましたら、ホームページからお問い合わせください

ホームページからお申込ください

尼崎市立美方高原自然の家 ホームページ

<https://www.obs-mikata.org>



